

平成29年新春を寿ぐ市民のつどいを開催しました



左から平成28年春叙勲受章者の齋藤芳さんと妻喜代美さん、秋叙勲受章者の佐藤賢一さん、松田新一さん

1月5日、新春恒例の「新春を寿ぐ市民の集い」が、ホワイトキューブで開催されました。本年の集いには、

顕章者 石原 夏海さん インタビュー

すべては自分次第！ ほんの少しのきっかけで なんでもできることを伝えていきたい



石原 夏海さん

平成15年に中新田高校に入学。映像で活動の様子が紹介されていたカヌー競技にひときわ目を引かれました。しかし、入部直前になり、親友と一緒に苦手な球技も乗り越えられるのではないかと、テニス部に入部しようか迷いました。そこで、その思いをカヌー部の顧問に話をしたところ、「とりあえずカヌーをやってみろ」と言われました。この「とりあえず」という一言から私のカヌー競技人生がスタートしました。

負けず嫌いで泣き虫な私をいつも励ましてくれた仲間たち。帰りが遅くなっても夜遅くまで練習に付き合ってくれた恩師。そして高3の夏、あの瞬間が忘れられない、拳を高く上げゴールした200m 4人乗りカヤックフォア優勝！ 日本一という夢を叶えました。

高3の夏、全国トップが集まる関東の強豪校に行けば今よりもさらに刺激し合える練習環境でしたが、進学先は仙台大学に決めました。父子家庭で、障がいを持つ姉がいて、下には妹が2人います。本来であれば私が働いて父の助けにならなければなりませんでしたが夢を諦めることはできませんでした。大学の費用は自分でまかなうことを親に約束し、奨学金を借り、バイトをしながら通いました。大学では、1人乗り5,000mカヤックシングル4位という成績で、思うような結果は出ませんでした。毎日カヌーに乗り、勉強に励める環境がとても幸せでした。

市民や事業所などから約330名が参加。平成28年春・秋の叙勲の栄に浴された方々に、発起人から記念品と花束が贈呈されました。

また、平成28年10月、「第71回国民体育大会」カヌーワイルドウォーター競技1,500m、成人女子カヤックシングルにおいて、第3位を受賞された石原夏海さん。さらに、平成28年2月に開催された「全国高校生写真サミット2016」、同年8月に開催された「第23回全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園2016）」において、第3位を受賞された白石工業高等学校写真部に、山田市長から顕彰状が贈呈されました。

卒業後、競技を続けるために財団法人仙台市スポーツ振興事業団に就職。しかし、仕事をしながら競技を続けることは簡単なことではありませんでした。練習時間が足りず記録が伸びない。そんな時に、激流の中を波の流れをよみながら下流へ下りスピードを競う競技「ワイルドウォーター」と出会いました。はじめはこんな危険な中でカヌーをするのかと思いましたが、「必ず乗りこなす」という気持ちが私の背中を押してくれました。

就職をして1年半が過ぎたころ、高校のカヌー部で指導してほしいという話があり、まだ自分の競技人生に納得していなかったため悩みましたが、「まずはやってみよう」と、引き受けることにしました。2年後、国体の出場が決定。練習の様子から入賞できると予想していましたが惨敗。艇から脱艇し失格となりました。来年こそは！ そう気持ちを新たに半年後、父が倒れました。毎日病院と職場を往復し、教員という夢も選手もすべて諦めましたが、1年が過ぎ、父の病状が回復。このままでは、父が自分のせいだと思わないか？ 「1年やってダメならすべてをやめる」。この覚悟で、一から勉強をやり直し教員試験に合格。そして、カヌー競技もまだ終われないと、国体に向け、本格的に体を鍛え直しました。

平成28年4月、白石中学校に赴任し新しい生活がスタート。「両立できなければ競技はやめる」という強い思いで臨み、同年10月に開催された国体では3位に入賞し、頂点に立つことはできませんでしたが、夢は叶えられるという思いがさらに強くなりました。

すべては自分次第！ 「育った環境を理由にしない」「お金がないことを理由にしない」「人のせいにならない」。ほんの少しのきっかけで、なんでもできるということを、今後の教員生活を通して、生徒たちに伝えていければと思っています。

第6回のうかつ交流会 参加者募集

J Aみやぎ仙南青年部員と交流しませんか？

- 日時 3月4日(土)11:00~17:00
 - 場所 蔵王町、大河原町(集合場所はJ R大河原駅)
 - 内容 チーズ作り体験、バーベキュー
 - 定員 20~40代の独身女性20人
 - 参加費 2,000円
 - 申込期限 2月20日(月)
- ☎みやぎ仙南農協青年部事務局
☎0224-55-1265
E-mail info@ja-miyagisennan.jp

(公財)白石市文化体育振興財団 嘱託・臨時職員募集

- 採用人数 若干名
 - 勤務場所 財団管理施設
 - 勤務内容 施設の維持管理・清掃・案内
 - 応募資格 市内在住の満55歳から64歳までの健康な方
 - 面接日 申込受付後、ご連絡します。
 - 申込方法 履歴書を財団事務局に提出してください。
 - 受付期間 2月2日(木)~14日(火) 8:30~17:00 休館日(水曜日)を除く。
- ☎(公財)白石市文化体育振興財団事務局
☎22-1290

予備自衛官補等の募集

- 予備自衛官補(一般)
予備自衛官補とは将来、予備自衛官となり、社会人や学生でありながら、有事の際は自衛官として社会に貢献する制度です。
 - 応募資格 18歳以上34歳未満の者
 - 受付期限 4月8日(土)
 - 幹部候補生(一般)
幹部自衛官の3つのやりがい。
①国と社会を守る社会的意義の高い仕事ができる。②幹部自衛官として必要な知識を習得できる。③卒業後、指揮官として早期から活躍できる。
 - 応募資格 22歳以上26歳未満の者
 - 受付期間 3月1日(水)~5月6日(土)
- ☎自衛隊宮城地方協力本部
大河原地域事務所 ☎0224-53-2185

毎月第3日曜日は「家庭の日」
家族みんなで過ごしましょう
今月は2月19日

任期付教職員募集

- 職種・採用人数 小学校教諭4人程度、中学校教諭(保健体育)2人程度
 - 受験資格 教員普通免許状を所有している者
 - 試験日時 3月9日(木)13:30~16:00
 - 試験科目 論文試験、人物試験
 - 受験手続き 学校管理課または市ホームページから採用試験申込書を取得し、必要事項を記入の上、期限内に提出してください。
 - 受付期間 2月6日(月)~17日(金)
- ☎学校管理課 ☎22-1342

~「ささえあい」「子育て」への思いを川柳に込めて~ 平成28年度「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました!



1_市長賞を受賞した江刺さん 2_受賞者の皆さんと審査委員長長の四籠英夫さん(前列右)

12月19日、男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回は「ささえあい」「子育て」がテーマ。11回目を迎えた今回は、過去最高の366人から870句の応募がありました。審査の結果、10名の作品が入選。さらに、入選作品の中から江刺鈴葵さん(白石第二小3年)の作品が市長賞を受賞しました。入選作品を含む応募作品は、2月1日(水)~24日(金)まで、ふれあいプラザ2階ホールに展示します。

●市長賞作品(敬称略)
『川の字も 朝にはみんな ママのそば』 江刺 鈴葵

●入選作品(敬称略)
『叱るより 誉めて育てて 大きな実』 水戸 光穂
『右はつえ 左ははくが 手をつなぐ』 佐藤 健成
『似てないと 言ってるわりに よく似てる』 丹野 敬士
『ほのぼのと 育ってほしい 地域の輪』 壺岐 莉帆
『白髪の 仲むつまじき ペアルック』 荒木 知子
『夜泣きして おんぶであやす お父さん』 川村日乃香
『孫の世話 してるつもりが 見守られ』 平間 啓子
『震災で 学んだことは 思いやり』 安藤 誠悟
『おいしいよ ばあばのにぎる みそむすび』 浅田 優太